

報道関係各位



<『2021年 LIFULL HOME'S 住みたい街ランキング』発表>
新型コロナウイルスの影響により、住まいに対する考え方も大転換
「賃貸は郊外化」「購入は都心と郊外の二極化」の傾向に

”借りて住みたい街”1位は「本厚木」、”買って住みたい街”1位は「勝どき」
コロナ禍で賃貸ユーザーと購入ユーザーに意向の違いが浮き彫りに

不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」等の住生活情報サービスを提供する株式会社 LIFULL（ライフル）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井上高志、東証第一部：2120）は、「LIFULL HOME'S」に掲載された物件のうち、実際の問合せ数から算出した『2021年 LIFULL HOME'S 住みたい街ランキング』を発表しました。

【本リリースのポイント】
賃貸ユーザーと購入ユーザーで住まいに対する考え方の違いが顕著に

- 賃貸ユーザーは「郊外志向」、購入ユーザーは「都心志向」と「郊外志向」の二極化に。
- 住み替えのしやすい賃貸ユーザーは、「低家賃」「都内へのアクセスのしやすさ」「ターミナル駅で生活利便性が担保できる」などの理由から郊外化の傾向。
- 新型コロナウイルス収束後を見据える購入ユーザーは、利便性や資産価値重視で都心化、一方で、テレワークの影響で都心暮らしへの必要性が薄れ、資産性が大きく下がらない程度に通勤・通学可能な準近郊のベッドタウンへの関心も高まっており二極化の傾向。

首都圏版 LIFULL HOME'S 借りて住みたい街（駅）ランキング

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）	都道府県	平均家賃（1LDK）
1位	3位アップ↑	本厚木（小田急小田原線）	神奈川県	約7万1000円
2位	3位アップ↑	大宮（JR東北新幹線ほか）	埼玉県	約9万
3位	1位ダウン↓	葛西（東京メトロ東西線）	東京都	約9万7000円
4位	3位アップ↑	八王子（JR横浜線ほか）	東京都	約7万8000円
5位	4位ダウン↓	池袋（JR山手線ほか）	東京都	約13万9000円
6位	8位アップ↑	千葉（JR総武線ほか）	千葉県	約7万9000円
7位	4位アップ↑	蕨（JR京浜東北・根岸線）	埼玉県	約8万2000円
8位	9位アップ↑	三鷹（JR中央線ほか）	東京都	約12万1000円
9位	7位アップ↑	柏（JR常磐線ほか）	千葉県	約7万4000円
10位	7位ダウン↓	川崎（JR東海道本線ほか）	神奈川県	約10万7000円
11位	2位アップ↑	高円寺（JR中央線ほか）	東京都	約12万6000円
12位	8位アップ↑	西川口（JR京浜東北・根岸線）	埼玉県	約8万5000円
13位	8位アップ↑	船橋（JR総武線ほか）	千葉県	約9万円
14位	8位アップ↑	町田（JR横浜線ほか）	東京都	約8万7000円
15位	7位ダウン↓	荻窪（JR中央線ほか）	東京都	約12万9000円

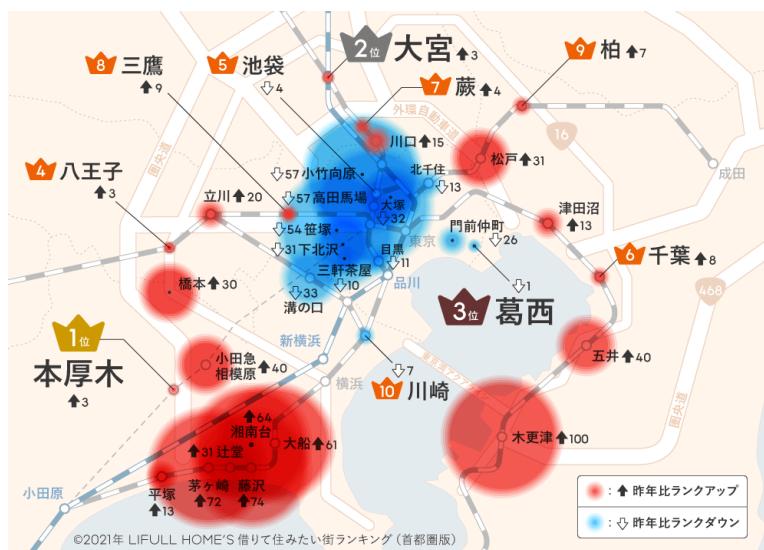
首都圏版 LIFULL HOME'S 買って住みたい街（駅）ランキング

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）	都道府県	平均中古マンション販売価格（2LDK）
1位	キープ→	勝どき（都営大江戸線）	東京都	約6175万円
2位	17位アップ↑	白金高輪（東京メトロ南北線ほか）	東京都	約7589万円
3位	8位アップ↑	本厚木（小田急小田原線）	神奈川県	約1816万円
4位	1位ダウン↓	三鷹（JR中央線ほか）	東京都	約3702万円
5位	1位ダウン↓	北浦和（JR京浜東北・根岸線）	埼玉県	約1771万円
6位	キープ→	八王子（JR横浜線ほか）	東京都	約1831万円
7位	8位アップ↑	柏（JR常磐線ほか）	千葉県	約1820万円
8位	13位アップ↑	目黒（JR山手線ほか）	東京都	約6434万円
9位	7位ダウン↓	恵比寿（JR山手線ほか）	東京都	約8203万円
10位	5位ダウン↓	東京（JR東海道新幹線ほか）	東京都	約8870万円
11位	31位アップ↑	橋本（JR横浜線ほか）	神奈川県	約1042万円
12位	5位ダウン↓	浦和（JR京浜東北・根岸線ほか）	埼玉県	約2522万円
13位	49位アップ↑	千葉（JR総武線ほか）	千葉県	約2274万円
14位	25位アップ↑	平塚（JR東海道本線ほか）	神奈川県	約1700万円
15位	9位アップ↑	大宮（JR東北新幹線ほか）	埼玉県	約2310万円

首都圏版「借りて住みたい街」ランキング

1位はコロナ禍で大躍進の「本厚木」！

都心近郊の人気エリアが軒並み順位を落とす中、郊外エリアが大きく上昇。



位以外でも、前回調査で 141 位だった「木更津」が 41 位に、117 位だった「湘南台」が 53 位に、134 位だった「茅ヶ崎」も 62 位とベスト 100 圏内に上昇し、賃貸ユーザーの郊外化が顕著に現れています。

対照的に、前回まで 4 年連続 1 位の「池袋」が 5 位に後退したのを始めとして「川崎」(3 位→10 位)、「三軒茶屋」(6 位→16 位)、「吉祥寺」(9 位→18 位) など、都心周辺の人気エリアが軒並みランクダウンとなりました。

ランキング結果詳細はこちらをご参照ください。

https://www.homes.co.jp/cont/s_ranking/shutoken/

<1位「厚木市」小林常良市長からのコメント>

本厚木駅は新宿駅まで乗り換えなく 1 時間、横浜駅まで 40 分でアクセスできることに加え、市内には東名、新東名、圏央道といった高速道路が走り、交通利便性が高いことが特徴です。また、中心市街地では駅前広場を含む再開発事業を始め、「駅近マンション」が建設されているなど、駅前の新たな顔づくりが進められており、街の更なる魅力・利便性の向上が期待されています。さらに、郊外に目を向けると、丹沢山系を始めとした豊かな自然環境に恵まれ、ハイキングや温泉郷、イチゴなどの味覚狩りが楽しめるなど、観光資源にも恵まれており、自然と都市が調和した暮らしやすさがランキング結果に表れたものを感じています。厚木市にお引越ししてくる方々からは、「通勤に便利」、「週末は気軽にアウトドアも楽しめる」、「個性的な飲食店も多くアフター 5 も充実」といったお声をいただくことがあります。特に、子育て世帯の皆様からは「買い物も便利でなんでもそろう」、「公園や児童館などの公共施設が多く、遊ぶ場所に困らない」、「子育て支援が手厚い」といったファミリーで暮らしやすい街として好評です。

厚木市では「子育て教育環境日本一」を目指して、「紙おむつ等の支給」、「中学生まで医療費無償」などの支援メニューを数多くそろえています。また、他の調査(※)では、「認可保育園に入る」、「病児保育施設が充実している」、「学童保育が充実している」など、共働きしながら子育てしやすい街として全国トップクラスの評価をいただいています。

厚木市は、これからも、あらゆる世代の方々が充実した生活を送ることができる支援や、まちづくりを進めています。興味を持たれた方はぜひ一度お越しください。

※ 共働き子育てしやすい街ランキング (日経 DUAL、日本経済新聞社の自治体調査)

2020 年は年間を通して新型コロナウイルスの感染拡大が物件検索や問合せにも大きな変化を与える結果となりました。三密を避ける「ステイ・ホーム」という新しい生活様式の中で、仕事や学校もテレワークやオンライン授業が定着し、比較的住み替えしやすい賃貸ユーザーの問合せは郊外化の傾向が鮮明になりました。なかでも、『2021 年 首都圏版 LIFULL HOME'S 借りて住みたい街ランキング』で 1 位になった「本厚木」を筆頭に、「千葉」「柏」「町田」など、準近郊・郊外でも都心方面へ乗換なしでアクセス可能な路線沿いの駅が軒並み大きく順位を上げています。上

117 位だった「湘南台」が 53 位に、134 位だ

った「茅ヶ崎」も 62 位とベスト 100 圏内に上昇し、賃貸ユーザーの郊外化が顕著に現れています。

対照的に、前回まで 4 年連続 1 位の「池袋」が 5 位に後退したのを始めとして「川崎」(3 位→10 位)、

「三軒茶屋」(6 位→16 位)、「吉祥寺」(9 位→18 位) など、都心周辺の人気エリアが軒並みランクダウンとな

りました。

ランキング結果詳細は

こちら

をご

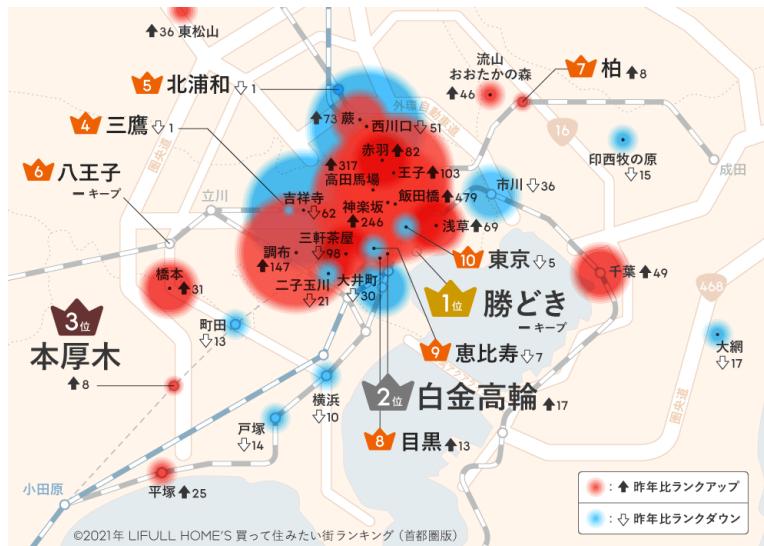
参照ください。

https://www.homes.co.jp/cont/s_ranking/shutoken/

首都圏版「買って住みたい街」ランキング

コロナ禍でも変わらず2年連続1位「勝どき」。

新型コロナウイルス収束後を見据え、利便性、資産価値、職住近接需要で都心人気の一方、郊外需要も活性化する“二極化”的傾向に



『2021年首都圏版 LIFULL HOME'S 買って住みたい街ランキング』1位は、2年連続で都営地下鉄大江戸線の「勝どき」となりました。

駅周辺にはオリンピック・レガシーとなる選手村跡地の大規模プロジェクトが進行中であり、その動向も含めて高い注目を集めていることがわかります。同様に、前回19位から2位に急上昇した「白金高輪」、同じく210位から19位にジャンプアップした「牛込柳町」など話題性の高い分譲物件のあった駅は順位を大幅に上げており、都心一等地の人気はコ

ロナ禍でも衰えていない事が明らかです。これは新型コロナウイルス収束後を想定し、利便性と資産性の高い都心周辺に買っておきたい、もしくはコロナ禍だからこそ、仕事への移動の際に密を避けるため公共交通の利用を極力避けたく、移動の少ない都心周辺で生活したい職住近接などのニーズによるものと思われます。

一方で「八王子」「柏」「橋本」「平塚」などテレワークの進捗に対応して新型コロナ感染回避をイメージした準近郊・郊外も上位に登場しています。都心周辺の賃貸から購入して転居する例も見受けられます。

ランキング結果詳細はこちらをご参照ください。

https://www.homes.co.jp/cont/s_ranking/shutoken/

【首都圏版解説：LIFULL HOME'S 総研 副所長 チーフアナリスト 中山登志郎】



2020年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、住みたい街ランキングにも大きな変化がありました。特筆すべきは「賃貸ユーザー」と「購入ユーザー」で大きく考え方方に違いがあることです。

■賃貸ユーザーの意向：郊外化が進む

1位の「本厚木」を筆頭に「千葉」「柏」「町田」などがランキング上位に登場し、準近郊・郊外でも都心方面へ乗換なしでアクセス可能な路線沿いの駅に多くの人が関心を寄せるという“郊外化”的傾向が鮮明になりました。

総務省が1月29日に発表した住民基本台帳人口移動報告（※）では、2020年の東京都への転入超過数は約3.1万人と2019年の約8.3万人から62.5%も大幅減少しました。東京都では2020年7月以降6カ月連続で転出超過=人口の流出が発生しており、“脱・都心”的傾向が明らかです。テレワークやオンライン授業の拡大により、必ずしも便利な都心周辺に居住する必要がなくなれば、感染リスクを避けて意向が郊外化するのは当然のことと言えます。ただし「都心と同じ家賃でより広い賃貸物件へ」ではなく「都心と同じくらい

の広さでより安価な郊外の賃貸物件へ」という住み替え傾向が多く見られます。これも新型コロナウイルスの影響で、雇用や所得に関する今後の不安が拡大していることが理由として考えられます。

こうした、賃貸ユーザーの「脱・都心」および「郊外人気増」の傾向は、新型コロナウイルス感染拡大の状況次第ですが、「より安心して生活したい」という思いや、テレワークやオンライン授業の定着によって、今後もある程度続くのではないかと考えています。新型コロナウイルスがきっかけとなり、これまでの利便性最優先の生活スタイルを見つめ直し、利便性だけではない、生活のゆとりや地域コミュニティとのかかわりなどに気持ちを向ける機会になり得る可能性があります。

新型コロナウイルスの影響が長期化するほど、こういった生活スタイルの変化も進む可能性が高まりますが、今後ワクチン接種などで終息に向かうと、再び利便性重視のコロナ以前の生活スタイルに戻り、都心近郊エリアに意向が徐々に戻ってくるものと考えられます。首都圏における賃貸ユーザーの意向の郊外化が今後も拡大するか、それとも一過性のものに終わるのかは、まさにコロナ次第ということになりそうです。

■購入ユーザーの意向：「都心周辺の利便性＆資産性の高いエリア」と「生活環境が整っていて安心して暮らせる準近郊エリア」の二極化

一方、購入ユーザーは、比較的住み替えしやすい賃貸ユーザーの意向とは大きく異なり、一度物件を購入してしまうと簡単には買い替えできないという特有の心理が働き、賃貸ユーザーのように郊外に関心を寄せるユーザーは少数派です。購入ユーザーのニーズは依然として利便性重視が多数を占めており、「コロナ禍でも資産性が高く維持されると期待できる都心や周辺の人気エリア」に多くの関心が集まっています。コロナ禍だからこそ職住近接で公共交通機関を使わずに通勤・通学可能な都心周辺に住みたい、もしくはテレワークで毎日会社に行かなくなった故に余計通勤時間が無駄に感じる、といった新たな購入ニーズも生み出しています。

ただし、購入ユーザーも新型コロナウイルスのリスクを軽視しているわけではなく「(資産性が大きく下がらない程度に) 通勤・通学可能な準近郊のベッドタウン」への関心も高まっていることがランキング結果から明らかです。購入ユーザーの意向は「都心周辺の利便性＆資産性の高いエリア」と「生活環境が整っていて安心して暮らせる準近郊エリア」に二極化していることが分かります。

■コロナ禍で賃貸ユーザーと購入ユーザーに意向の違いが浮き彫りに

このように、比較的容易に住み替え可能な賃貸ユーザーと、一旦購入すれば特定のエリアに相応の期間住み続けることが前提となる購入ユーザーでは、居住エリアの選択について大きな違いがあることが明らかになりました。特にコロナ禍であるからこそ、それぞれの意向の違いがさらに浮き彫りになったものと考えられます。

新型コロナウイルスに対する不安や恐れは同じでも、対策として住み替えをイメージするのか否か、もしくは具体的に検討するのか否かという点で、賃貸ユーザーと購入ユーザーの特性が顕在化したと見ることができます。

※出典：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

<https://www.stat.go.jp/data/idou/index.html>

近畿圏版「住みたい街ランキング」

賃貸は「三ノ宮」が5年連続1位、購入は「本町」が2年連続で1位獲得

コロナ禍においても利便性の高い市街地中心部の選択志向に変化なし

近畿圏版 LIFULL HOME'S 借りて住みたい街（駅）ランキング

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）
1位	キープ→	三ノ宮（JR東海道・山陽本線ほか）
2位	キープ→	新大阪（大阪メトロ御堂筋線ほか）
3位	6位アップ↑	武庫之荘（阪急神戸本線）
4位	1位ダウン↓	姫路（JR東海道・山陽本線ほか）
5位	1位ダウン↓	江坂（大阪メトロ御堂筋線ほか）
6位	1位アップ↑	上新庄（阪急京都本線）
7位	1位アップ↑	中津（阪急宝塚本線ほか）
8位	5位アップ↑	天神橋筋六丁目（阪急千里線ほか）
9位	3位ダウン↓	出町柳（京阪本線ほか）
10位	5位アップ↑	東三国（大阪メトロ御堂筋線）
11位	3位アップ↑	神戸（JR東海道・山陽本線ほか）
12位	2位ダウン↓	塚口（JR福知山線ほか）
13位	10位アップ↑	今里（近鉄大阪線ほか）
14位	3位ダウン↓	伊丹（JR福知山線ほか）
15位	14位アップ↑	立花（JR東海道・山陽本線）

近畿圏版 LIFULL HOME'S 買って住みたい街（駅）ランキング

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）
1位	キープ→	本町（大阪メトロ御堂筋線ほか）
2位	30位アップ↑	三ノ宮（JR東海道・山陽本線）
3位	12位アップ↑	谷町四丁目（大阪メトロ谷町線ほか）
4位	3位アップ↑	香里園（京阪本線）
5位	4位アップ↑	寝屋川市（京阪本線）
6位	4位アップ↑	塚口（JR福知山線ほか）
7位	5位ダウン↓	姫路（JR山陽新幹線ほか）
8位	42位アップ↑	北千里（阪急千里線）
9位	5位ダウン↓	大阪上本町（近鉄大阪線ほか）
10位	5位ダウン↓	桃山台（北大阪急行電鉄）
11位	23位アップ↑	大久保（近鉄京都線）
12位	19位アップ↑	御影（阪急神戸本線ほか）
13位	3位アップ↑	高槻（JR東海道・山陽本線）
14位	4位アップ↑	和泉中央（泉北高速鉄道）
15位	8位アップ↑	加古川（JR東海道・山陽本線ほか）

近畿圏では、首都圏で見られたような郊外化や二極化などの傾向はみられず、借りて住みたい街では5年連続で「三ノ宮」が1位となったほか、2位「新大阪」（前回と変わらず）、3位「武庫之荘」（前回9位）など、上位の顔ぶれには大きな変化はありませんでした。特に1位の「三ノ宮」は2017年から5年連続の1位、「新大阪」も3年連続の2位です。順位に若干の変動はありますが、上位の駅名には大きな変化がないということは、いずれも交通・生活の利便性が高く、賃貸物件も豊富で利便性に対して賃料相場が安定しているエリアがこれまで通り人気を集めていると見ることができます。関西は全国からの人口流入が減少する傾向にあり、総体的に同じ圏域での住み替えが増えていることから、コロナ禍における新しい生活様式においても、居住エリアを変えるという選択がほぼ発生していないことがわかります。

一方、買って住みたい街は地下鉄御堂筋線「本町」が2年連続して1位となり、2位には借りて住みたい街1位の「三ノ宮」が前回32位から大きく順位を上げました。3位も前回15位から順位を上げた地下鉄谷町線「谷町四丁目」が入り、交通と生活の利便性が共に良好でマンション分譲がコンスタントに継続しているエリアに注目が集まっている状況です。2018年から2年連続で1位となった「姫路」は前回2位でしたが今回は7位に後退しました。神戸市西側は観光産業を中心に経済圏が活性化していますが、新型コロナウイルスの感染拡大によってインバウンドなどの観光需要が大きく落ち込んだことがランキング順位に影響しているものと考えられます。

ランキング結果はこちらをご参考ください。https://www.homes.co.jp/cont/s_ranking/kinki/

中部圏版「住みたい街ランキング」

賃貸は「岐阜」が3連覇を達成

購入では前回の49位から一気に順位を上げた「名古屋」が初の栄冠を獲得

コロナ禍においても賃料相場が安定していて物件数も多いエリアの人気が継続

中部圏版 LIFULL HOME'S 借りて住みたい街（駅）ランキング

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）
1位	キープ→	岐阜（JR東海道本線ほか）
2位	1位アップ↑	豊橋（JR東海道本線ほか）
3位	1位アップ↑	岡崎（JR東海道本線ほか）
4位	1位アップ↑	新栄町（名古屋市営東山線）
5位	4位アップ↑	塩釜口（名古屋市営鶴舞線）
6位	10位アップ↑	春日井（JR中央本線ほか）
7位	5位ダウン↓	中村公園（名古屋市営東山線）
8位	キープ→	豊田市（名鉄三河線ほか）
9位	2位ダウン↓	一社（名古屋市営東山線）
10位	4位ダウン↓	藤が丘（名古屋市営東山線ほか）
11位	3位アップ↑	中村区役所（名古屋市営桜通線）
12位	24位アップ↑	高岳（名古屋市営桜通線）
13位	11位アップ↑	尾張一宮（JR東海道本線）
14位	3位ダウン↓	鶴舞（JR中央本線ほか）
15位	2位ダウン↓	星ヶ丘（名古屋市営東山線）

中部圏版 LIFULL HOME'S 買って住みたい街（駅）ランキング

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）
1位	48位アップ↑	名古屋（JR東海道本線ほか）
2位	キープ→	伏見（名古屋市営東山線ほか）
3位	1位アップ↑	茶屋ヶ坂（名古屋市営名城線）
4位	2位アップ↑	岐阜（JR東海道本線）
5位	2位ダウン↓	丸の内（名古屋市営鶴舞線ほか）
6位	8位アップ↑	尾張一宮（JR東海道本線）
7位	15位アップ↑	春日井（JR中央本線ほか）
8位	1位ダウン↓	名鉄岐阜（名鉄名古屋本線ほか）
9位	14位アップ↑	豊橋（JR東海道新幹線ほか）
10位	34位アップ↑	岡崎（JR東海道本線ほか）
11位	10位ダウン↓	久屋大通（名古屋市営名城線ほか）
12位	14位アップ↑	金山（JR東海道本線ほか）
13位	2位アップ↑	桜山（名古屋市営桜通線）
14位	9位ダウン↓	高岳（JR東海道本線）
15位	4位アップ↑	徳重（名古屋市営桜通線）

中部圏でも新型コロナウイルスによる影響はさほど見られず、借りて住みたい街では「岐阜」が3年連続で1位を獲得、2位も前回3位の「豊橋」、3位は前回4位の「岡崎」と、前回とほぼ同じ顔ぶれが上位を占めています。都市圏の規模が比較的コンパクトな中部圏の賃貸ユーザーは、交通利便性に大きな違いがないことから賃料が高水準な名古屋市中心部よりもその周辺エリアで物件を選択する傾向があり、今回も賃料相場が安定していて物件数も多いエリアの人気がコロナ禍でも継続していることが明らかになりました。前回2位の「中村公園」も7位、同エリアの「中村区役所」も11位と健闘しており、名古屋駅から西側に位置するエリアの人気が確実に高まっていることがうかがわれます。

ただし、前回16位から6位へとベスト10入りした「春日井」をはじめ、13位の「尾張一宮」、19位の「穂積」など名古屋市郊外の駅が上位に登場し始めており、僅かながら賃貸ユーザーの郊外化が発生している可能性を見ることもできます。

一方、買って住みたい街では、中部圏の中心地である「名古屋」が前回の49位から急上昇し、初の1位を獲得しました。名古屋駅の周辺では徒歩圏で大規模物件の分譲があり、またバス便で名古屋駅に紐づいている大規模分譲物件があることも影響しているものと考えられます。2位以下は、前回同様2位となった「伏見」、4位から一つ順位を上げた「茶屋ヶ坂」、同じく6位から4位に上昇した「岐阜」など、上位の顔ぶれには他に大きな変化がないことから、今回は「名古屋」に紐づいた物件の影響が大きく反映される結果となりました。

ランキング結果はこちらをご参照ください。https://www.homes.co.jp/cont/s_ranking/chubu/

九州圏版「住みたい街ランキング」

賃貸は「博多」が4年連続の1位、購入では前回3位の「唐人町」が初の1位を獲得。コロナ禍でも福岡市中心部への一極集中という状況に変化なし

九州圏版 LIFULL HOME'S 借りて住みたい街（駅）ランキング

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）
1位	キープ→	博多（JR鹿児島本線ほか）
2位	1位アップ↑	西鉄平尾（西鉄天神大牟田線）
3位	1位ダウン↓	高宮（西鉄天神大牟田線ほか）
4位	キープ→	大橋（西鉄天神大牟田線）
5位	6位アップ↑	博多南（JR博多南線）
6位	6位アップ↑	渡辺通（福岡市地下鉄七隈線）
7位	キープ→	姪浜（JR筑肥線ほか）
8位	3位ダウン↓	井尻（西鉄天神大牟田線）
9位	キープ→	東比恵（福岡市地下鉄空港線）
10位	キープ→	大濠公園（福岡市地下鉄空港線）
11位	3位ダウン↓	西新（福岡市地下鉄空港線ほか）
12位	12位アップ↑	九産大前（JR鹿児島本線）
13位	3位アップ↑	薬院（西鉄天神大牟田線ほか）
14位	8位ダウン↓	吉塚（JR鹿児島本線ほか）
15位	2位ダウン↓	箱崎（JR鹿児島本線）

九州圏版 LIFULL HOME'S 買って住みたい街（駅）ランキング

順位	前回比	駅名（代表的な沿線名）
1位	2位アップ↑	唐人町（福岡市地下鉄空港線ほか）
2位	7位アップ↑	藤崎（福岡市地下鉄空港線ほか）
3位	2位ダウン↓	西鉄平尾（西鉄天神大牟田線）
4位	2位ダウン↓	大濠公園（福岡市地下鉄空港線）
5位	キープ→	薬院（西鉄天神大牟田線ほか）
6位	6位アップ↑	高宮（西鉄天神大牟田線ほか）
7位	1位アップ↑	西新（福岡市地下鉄空港線ほか）
8位	2位ダウン↓	姪浜（JR筑肥線ほか）
9位	2位ダウン↓	六本松（福岡市地下鉄七隈線）
10位	6位ダウン↓	赤坂（福岡市地下鉄空港線ほか）
11位	1位ダウン↓	薬院大通（福岡市地下鉄七隈線）
12位	1位ダウン↓	大橋（西鉄天神大牟田線）
13位	4位アップ↑	室見（福岡市地下鉄空港線）
14位	6位アップ↑	呉服町（福岡市地下鉄箱崎線）
15位	キープ→	博多南（JR博多南線）

九州圏（福岡県）でも新型コロナウイルスによる影響はさほど見られず、借りて住みたい街では「博多」が4年連続で1位となりました。これまで「天神」を中心として発展してきた福岡市は、新幹線や市営地下鉄の延伸に伴って「博多」での事業集積が進みリソースが集中するようになったことで賃貸需要も急速に拡大して、近年では「天神」に代わる福岡の中心地として機能しています。また福岡市内はバス路線が発達していて、鉄道・地下鉄の駅から離れたエリアでも交通の便が良好であるため、特に駅勢圏の広い「博多」は物件が多く賃貸ユーザーの支持を集めています。

一方で、買って住みたい街は前回3位の「唐人町」がトップとなり、前回1位の「西鉄平尾」が3位、前回9位の「藤崎」が2位と、ベスト15の顔ぶれには大きな変化はありませんでした。「唐人町」は前々回の4位から徐々に順位を上げて今回初の1位を獲得しました。人気の「大濠公園」（今回4位）に隣接する交通至便エリアですが、近くにこの駅を最寄りとする28階建て600戸弱の大規模なタワーマンションが分譲されて一気に注目度が高まりました。

ランキング結果はこちらをご参考ください。https://www.homes.co.jp/cont/s_ranking/kyushu/

■調査概要

対象期間：2020年1月1日～2020年12月31日

対象者：LIFULL HOME'S ユーザー

- └首都圏版 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
- └関西版 大阪府、京都府、兵庫県
- └中部版 愛知県、岐阜県、三重県
- └九州版 福岡県

集計方法：LIFULL HOME'S に掲載された賃貸物件・購入物件のうち、問合せの多かった駅名をそれぞれ集計

分析：LIFULL HOME'S 総研

■株式会社 LIFULL について（東証第一部：2120、URL：LIFULL.com/）

所在地：東京都千代田区麹町1-4-4

代表者：代表取締役社長 井上 高志

事業内容：不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S(ライフル ホームズ)」の運営等

設立年月：1997年3月

ウェブサイト：<https://LIFULL.com/>

LIFULLは「あらゆる LIFE を、FULL に。」をコーポレートメッセージに掲げ、個人が抱える課題から、その先にある世の中の課題まで、安心と喜びをさまたげる社会課題を、事業を通して解決していくことを目指す企業です。

現在はグループとして世界63ヶ国でサービスを提供しており、主要サービスである不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」をはじめ、空き家の再生を軸とした「LIFULL 地方創生」、シニアの暮らしに寄り添う「LIFULL 介護」など、この世界の一人ひとりの暮らし・人生が安心と喜びで満たされる社会の実現を目指し、さまざまな領域に事業拡大しています。

■2021年首都圏版 LIFULL HOME'S 借りて住みたい街（駅）ランキング

順位		駅名（代表的な沿線名）	順位	駅名（代表的な沿線名）	
2021	2020		2021	2020	
1位	4位	本厚木（小田急小田原線）	51位	30位	蒲田（JR京浜東北・根岸線ほか）
2位	5位	大宮（JR京浜東北・根岸線ほか）	52位	37位	浦和（JR京浜東北・根岸線ほか）
3位	2位	葛西（東京メトロ東西線）	53位	117位	湘南台（横浜市営地下鉄ブルーラインほか）
4位	7位	八王子（JR中央線ほか）	54位	65位	日吉（東急東横線ほか）
5位	1位	池袋（JR山手線ほか）	55位	70位	武蔵境（JR中央線ほか）
6位	14位	千葉（JR総武線ほか）	56位	52位	錦糸町（JR総武線ほか）
7位	11位	蕨（JR京浜東北・根岸線）	57位	61位	駒沢大学（東急田園都市線）
8位	17位	三鷹（JR中央線ほか）	58位	63位	鶴見（JR京浜東北・根岸線ほか）
9位	16位	柏（JR常磐線ほか）	59位	67位	両国（JR総武線ほか）
10位	3位	川崎（JR東海道本線ほか）	60位	56位	金町（JR常磐線）
11位	13位	高円寺（JR中央線ほか）	61位	83位	調布（京王線ほか）
12位	20位	西川口（JR京浜東北・根岸線）	62位	134位	茅ヶ崎（JR東海道本線ほか）
13位	21位	船橋（JR総武線ほか）	63位	98位	綱島（東急東横線）
14位	22位	町田（小田急小田原線ほか）	64位	85位	武蔵小金井（JR中央線ほか）
15位	8位	荻窪（JR中央線ほか）	65位	87位	相模大野（小田急小田原線ほか）
16位	6位	三軒茶屋（東急田園都市線ほか）	66位	49位	千歳烏山（京王線）
17位	32位	川口（JR京浜東北・根岸線）	67位	78位	浅草（東京メトロ銀座線ほか）
18位	9位	吉祥寺（JR中央線ほか）	68位	51位	北綾瀬（東京メトロ千代田線）
19位	18位	新小岩（JR総武線ほか）	69位	43位	練馬（西武池袋線ほか）
20位	19位	小岩（JR総武線）	70位	58位	元住吉（東急東横線ほか）
21位	34位	津田沼（JR総武線ほか）	71位	39位	大塚（JR山手線ほか）
22位	12位	中野（JR中央線ほか）	72位	57位	竹ノ塚（東武伊勢崎線）
23位	10位	北千住（JR常磐線ほか）	73位	45位	赤羽（JR京浜東北・根岸線ほか）
24位	24位	綾瀬（JR常磐線ほか）	74位	106位	西八王子（JR中央線ほか）
25位	15位	浦安（東京メトロ東西線）	75位	48位	横浜（JR東海道本線ほか）
26位	46位	立川（JR中央線ほか）	76位	72位	南浦和（JR京浜東北・根岸線ほか）
27位	40位	平塚（JR東海道本線ほか）	77位	53位	田端（JR山手線ほか）
28位	23位	大井町（JR京浜東北・根岸線ほか）	78位	47位	下北沢（京王井の頭線ほか）
29位	25位	大森（JR京浜東北・根岸線ほか）	79位	66位	中野坂上（東京メトロ丸ノ内線ほか）
30位	54位	武蔵小杉（東急東横線ほか）	80位	96位	向ヶ丘遊園（小田急小田原線）
31位	44位	八潮（つくばエクスプレス）	81位	89位	川越（JR埼京線ほか）
32位	62位	橋本（JR横浜線ほか）	82位	64位	押上（東京メトロ半蔵門線ほか）
33位	50位	市川（JR総武線ほか）	83位	69位	阿佐ヶ谷（JR中央線ほか）
34位	31位	西荻窪（JR中央線ほか）	84位	60位	駒込（JR山手線ほか）
35位	59位	国分寺（JR中央線ほか）	85位	125位	小田急相模原（小田急小田原線）
36位	27位	本八幡（JR総武線ほか）	86位	90位	大泉学園（西武池袋線）
37位	55位	志木（東武東上線）	87位	161位	藤沢（JR東海道本線ほか）
38位	38位	西船橋（JR武蔵野線ほか）	88位	79位	白金高輪（東京メトロ南北線ほか）
39位	28位	目黒（JR山手線ほか）	89位	35位	笹塚（京王線）
40位	71位	辻堂（JR東海道本線ほか）	90位	103位	南与野（JR埼京線）
41位	141位	木更津（JR内房線ほか）	91位	76位	中目黒（東京メトロ日比谷線ほか）
42位	73位	松戸（JR常磐線ほか）	92位	153位	大船（JR東海道本線ほか）
43位	33位	戸塚（JR東海道本線ほか）	93位	36位	高田馬場（JR山手線ほか）
44位	74位	和光市（東京メトロ有楽町線ほか）	94位	91位	初台（京王線）
45位	68位	草加（東武伊勢崎線）	95位	109位	武蔵浦和（JR埼京線ほか）
46位	86位	五井（JR内房線ほか）	96位	128位	国立（JR中央線ほか）
47位	26位	恵比寿（JR山手線ほか）	97位	139位	淵野辺（JR横浜線）
48位	29位	東中野（JR中央線ほか）	98位	75位	町屋（東京メトロ千代田線）
49位	42位	学芸大学（東急東横線）	99位	81位	三ノ輪（東京メトロ日比谷線）
50位	41位	亀有（JR常磐線）	100位	102位	南行徳（東京メトロ東西線）

■2021年首都圏版 LIFULL HOME'S 買って住みたい街（駅）ランキング

順位	駅名（代表的な沿線名）	順位	駅名（代表的な沿線名）
2021	2020	2021	2020
1位	1位 勝どき（都営大江戸線）	51位	88位 東武練馬（東武東上線）
2位	19位 白金高輪（東京メトロ南北線ほか）	52位	25位 藤沢（JR東海道本線ほか）
3位	11位 本厚木（小田急小田原線）	53位	370位 高田馬場（JR山手線ほか）
4位	3位 三鷹（JR中央線ほか）	54位	35位 浜松町（JR山手線ほか）
5位	4位 北浦和（JR京浜東北・根岸線）	55位	43位 川越（JR埼京線ほか）
6位	6位 八王子（JR中央線ほか）	56位	103位 柏の葉キャンパス（つくばエクスプレス）
7位	15位 柏（JR常磐線ほか）	57位	202位 日暮里（JR山手線ほか）
8位	21位 目黒（JR山手線ほか）	58位	91位 新百合ヶ丘（小田急小田原線ほか）
9位	2位 恵比寿（JR山手線ほか）	59位	102位 入谷（東京メトロ日比谷線ほか）
10位	5位 東京（JR東海道本線ほか）	60位	77位 金町（JR常磐線）
11位	42位 橋本（JR横浜線ほか）	61位	89位 茅ヶ崎（JR東海道本線ほか）
12位	7位 浦和（JR京浜東北・根岸線ほか）	62位	98位 東松山（東武東上線）
13位	62位 千葉（JR総武線ほか）	63位	309位 神楽坂（東京メトロ東西線）
14位	39位 平塚（JR東海道本線ほか）	64位	47位 本八幡（JR総武線ほか）
15位	24位 大宮（JR京浜東北・根岸線ほか）	65位	139位 竹ノ塚（東武伊勢崎線）
16位	29位 朝霞（東武東上線）	66位	53位 八千代緑が丘（東葉高速鉄道）
17位	26位 八街（JR総武本線）	67位	459位 東中野（JR中央線ほか）
18位	27位 川口（JR京浜東北・根岸線）	68位	145位 亀戸（JR総武線ほか）
19位	210位 牛込柳町（都営大江戸線）	69位	113位 船堀（都営新宿線）
19位	12位 中目黒（東京メトロ日比谷線ほか）	70位	140位 武蔵小杉（東急東横線ほか）
21位	8位 町田（小田急小田原線ほか）	71位	130位 市ヶ谷（JR中央線ほか）
22位	90位 浅草（東京メトロ銀座線ほか）	72位	148位 練馬（西武池袋線ほか）
23位	13位 横浜（JR東海道本線ほか）	72位	129位 和光市（東京メトロ有楽町線ほか）
24位	40位 豊洲（東京メトロ有楽町線ほか）	74位	80位 南浦和（JR京浜東北・根岸線ほか）
25位	34位 月島（東京メトロ有楽町線）	74位	73位 桜新町（東急田園都市線）
26位	41位 稲毛（JR総武線ほか）	76位	36位 西日暮里（JR山手線ほか）
27位	18位 武蔵小金井（JR中央線ほか）	77位	97位 松戸（JR常磐線ほか）
28位	14位 戸塚（JR東海道本線ほか）	78位	50位 溝の口（東急田園都市線ほか）
29位	22位 船橋（JR総武線ほか）	79位	57位 稲毛海岸（JR京葉線）
30位	9位 二子玉川（東急田園都市線ほか）	80位	151位 保土ヶ谷（JR横須賀線ほか）
31位	51位 千駄木（東京メトロ千代田線）	81位	31位 上大岡（横浜市営地下鉄ブルーラインほか）
32位	17位 印西牧の原（北総鉄道）	82位	37位 茗荷谷（東京メトロ丸ノ内線）
33位	33位 萩窪（JR中央線ほか）	83位	118位 品川（JR山手線ほか）
34位	131位 三軒茶屋（東急田園都市線ほか）	84位	135位 上福岡（東武東上線）
35位	48位 大泉学園（西武池袋線）	85位	23位 吉祥寺（JR中央線ほか）
36位	82位 流山おおたかの森（東武野田線ほか）	86位	188位 検見川浜（JR京葉線）
37位	119位 赤羽（JR京浜東北・根岸線ほか）	87位	69位 日吉（東急東横線ほか）
38位	141位 王子（JR京浜東北・根岸線ほか）	88位	616位 神谷町（東京メトロ日比谷線）
39位	61位 志木（東武東上線）	89位	109位 錦糸町（JR総武線ほか）
40位	10位 大井町（JR京浜東北・根岸線ほか）	90位	38位 西川口（JR京浜東北・根岸線）
41位	520位 飯田橋（JR中央線ほか）	91位	114位 茂原（JR外房線）
42位	104位 西荻窪（JR中央線ほか）	92位	264位 用賀（東急田園都市線）
43位	116位 蕨（JR京浜東北・根岸線）	93位	84位 浦和美園（埼玉高速鉄道）
44位	49位 新小岩（JR総武線ほか）	94位	278位 蔵前（都営浅草線ほか）
45位	28位 大網（JR外房線ほか）	95位	59位 三ノ輪（東京メトロ日比谷線）
46位	63位 辻堂（JR東海道本線ほか）	96位	60位 市川（JR総武線ほか）
47位	55位 西八王子（JR中央線ほか）	97位	44位 海老名（JR相模線ほか）
48位	195位 調布（京王線ほか）	98位	128位 学芸大学（東急東横線）
49位	54位 武蔵小山（東急目黒線）	99位	248位 新検見川（JR総武線）
50位	20位 駒沢大学（東急田園都市線）	100位	182位 大塚（JR山手線ほか）